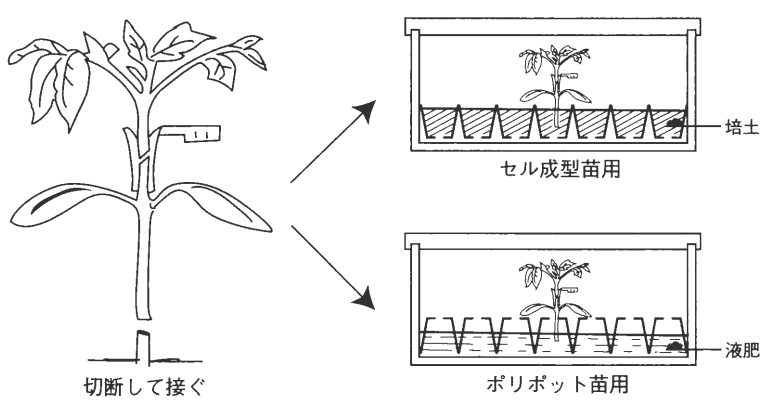


事項	トマトの断根接ぎ木における簡易養生法		
ねらい	<p>トマトは青枯病等の土壌病害の増加に伴い接ぎ木栽培は増加傾向にあり、農協等の育苗施設を中心にナエピット等の養生施設の導入も進んでいる。しかし、現況の施設・装置では今後苗の不足を来す可能性があり、より簡易な接ぎ木及び養生法の開発が望まれている。そこで、断根接ぎ木による養生法について検討した結果、簡易養生法が明らかになったので参考に供する。</p>		
指導内容	<p>1 養生方法と養生条件 接ぎ木時の短い断根接ぎ木とし、養生は、ふたをした発泡スチロール箱（セルトレイの入る大きさ）内で行う。温度調節は箱内にサーモスタット入れて22℃程度に設定する。湿度、照度の調節は必要ない。</p> <p>(1) セル成型苗用の場合 培土を詰めたセルトレイ入れ、断根接ぎ木した苗を挿す。</p> <p>(2) ポリポット苗用の場合 ア 箱内にセルトレイ（128穴）を逆さまに置く。 イ EC (ms/cm) 0.5～0.8程度の液肥を台木の断根部が浸る程度入れる。 ウ セルトレイの水抜け穴に断根接ぎ木した苗を挿す。</p> <p>2 養生・順化期間 セル成型苗、ポリポット苗とも活着は4日程度である。活着後3日間はふたを開け閉めして順化し、その後は解放する。</p> <p>3 順化後の管理 接ぎ木後7～8日でセル成型苗は通常の育苗管理とする。 ポリポット用の断根接ぎ木苗は順化終了後順次鉢上げをし、通常の育苗管理とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>切断して接ぐ</p> <p>セル成型苗用</p> <p>培土</p> <p>液肥</p> <p>ポリポット苗用</p> <p><b>断根接ぎ木と簡易養生</b></p> </div>		
期待される効果	接ぎ木の能率が上り、接ぎ木・養生の簡略化が図られる。		
利用上の注意事項	<p>1 液肥用の水はオゾン水等の殺菌水が望ましい。</p> <p>2 ポリポット用の養生の場合、断根接ぎ木苗を挿すセルトレイの水抜け穴は、発根した苗を抜き取るため、大きめのものを使用するか、穴を大きくする。</p>		
担当	青森県農業試験場 水田利用部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成11年度 青森県農業試験場成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 発泡スチロール箱内養生での断根処理と活着程度 (平成11年度 青森農試)

区名	EC (ms/cm)	活着 (日)	活着率 (%)	順化 (日)	発根数 (本)	最根長 (cm)	備考 (箱内養生条件)
断根液肥 200倍	1.8	5	82	3	17.3	4.8	ハウス内照度15,400~50,000Lx時の箱内照度：552~1,710Lx 養生中箱温度：平均21.1℃、最高26.5℃、最低15.8℃ 湿度：99% 断根液肥区：128セルトレイ使用 断根培土挿し木区及び無断根：72セルトレイ使用
〃 500倍	0.8	4	94	3	16.6	6.2	
〃 1000倍	0.5	4	100	3	18.6	6.0	
〃 0倍	0.1	4	100	3	16.6	7.2	
断根培土挿し木	—	4	95	3	—	—	
無断根	—	4	89	3	—	—	

注) 品種(穂木・台木)：桃太郎8・アンカーT、は種：平成11年3月25日、接ぎ木：4月13日  
接ぎ木方法：接ぎ木ホルダー斜め接ぎ、発根調査：4月21日、使用発泡スチロール箱(P-30)：60\*36cm  
使用水：活性酸素水(オゾンパワーOK-125)、使用液肥：ハイポネックス(N5-P10-K5)

表2 接ぎ木時間 (平成11年度 青森農試)

区	100本当たり	慣行対比(%)	備考
断根	83.9分	55.4	3人作業による1人当たり平均
無断根(慣行)	151.5分	100	

表3 セル成型苗定植時及び慣行ポット苗定植時の生育 (平成11年度 青森農試)

区番	区名	セル成型苗定植時(4/28)		慣行ポット苗定植時(5/21)		
		草丈 (cm)	葉数 (葉)	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎径 (mm)
1	セル成型苗断根	13.0	4.1	30.2	10.8	9.7
2	セル成型苗無断根	20.8	4.4	31.2	10.8	10.2
3	ポリポット苗断根	—	—	41.2	10.6	8.5
4	ポリポット苗無断根	—	—	40.2	10.8	8.5

注) セル成型苗は72セル、ポリポット苗は直径12cm、栽植密度：畦幅180cm、株間50cm、2条植、222株/a  
収穫果房段数：12段、施肥量(kg/a)：基肥N2.0(スーパロング100)、追肥N1.3(トミー液肥8回)

表4 収穫及び品質 (平成11年度 青森農試)

区番	収量(kg/a)		AB品率 (%)	一果重 (g)	着果数 (個/a)	障害果の発生割合 (%)						
	AB品	総収量				小果	空洞果	裂果	チャック果	窓あき果	乱形果	尻腐果
1	703	1,624	43.3	180	9,013	7.7	9.2	21.1	12.9	7.3	10.2	6.8
2	682	1,534	44.4	186	8,236	7.2	10.7	19.2	13.9	9.7	8.1	8.8
3	746	1,442	51.6	177	8,170	9.8	10.2	16.7	14.5	7.0	6.6	4.1
4	792	1,473	53.8	176	8,392	6.9	11.0	18.4	13.3	7.7	6.6	3.2

表5 収穫終了時(11月12日)の果房下茎径及び葉数 (平成11年度 青森農試)

区番	上段：茎径(mm) 下段：葉数(葉)	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9	第10	第11	第12
		1	茎径	19.3	18.0	17.6	15.8	13.9	12.1	11.1	10.6	11.6	11.9
	葉数	9.4	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9
2	茎径	18.6	17.4	16.6	14.5	12.5	10.9	10.4	10.8	11.9	12.0	11.3	10.0
	葉数	10.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	3.1	3.0	2.8	2.9	3.0
3	茎径	15.3	16.4	16.3	14.4	12.3	10.6	10.7	11.4	12.4	12.1	11.3	10.2
	葉数	8.6	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	3.1	3.0	2.9	3.0	3.0
4	茎径	16.7	16.7	16.7	14.4	12.1	10.5	10.4	11.1	11.9	11.2	10.5	9.8
	葉数	9.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.7	3.0	2.6